



ものづくり大賞
京の3社優秀賞

近畿地区表彰式

製造現場の中枢を担う人材を顕彰する「ものづくり大賞」(経済産業省など主催)の近畿地区表彰式が25日、大阪市内で開かれ、京

都市の企業3社計12人が優秀賞に選ばれた写真。

同大賞は2005年から隔年で表彰している。式典で受賞団体の代表は近畿経済産業局の武田家明局長から賞状を受け取った。コスメデイ製薬(南

区)の李英哲さんら4人

は、数千本の微細な針をシートに並べた「貼る注射」を実用化。

スピーチで李さんは「生産方法を一から模索して世界初の製品化、量産を実現した。今後、良いものづくりを追求したい」と述べた。

(古市大)

ほかの京都企業の受賞者は次の通り。

イシダメディカル(下京区、3人) 排尿計測記録システムを開発し、医療現場の負担を軽減▽HACARUS(中区、5人) 形状が複雑な金属製品の検査をロボットと独自AI(人工知能)で自動化